



の旬が来ました！



桃を箱に詰める作業員

～「津軽の桃」出荷が本格化～

8月に入り、当JA産のブランド桃『津軽の桃』の出荷が本格化しました。

『津軽の桃』は、9月末までに合計4万5000箱（1箱5㍑）の出荷を計画。品種は「あかつき」4500箱を始め、「まどか」2700箱、9月上旬の主力となる「川中島白桃」3万6500箱、晩生桃の「だて白桃」1300箱。合計の販売額は1億円を目指します。

8月中旬からは、早生桃「あかつき」や中生桃「まどか」の出荷が始まり、平賀東部りんごセンターに続々と運び込まれました。

今年は天候不順が続いたが、その中でも「あかつき」は高糖度なものも多い状況でした。りんご野菜課の販売担当者は「『津軽の桃』ブランドの確立と、生産者の所得向上のために良品質の桃を出荷したい」と話しました。



川中島白桃を収穫する小野さん

～「川中島白桃」収穫開始～

8月下旬に桃の主力品種「川中島白桃」の収穫が始まりました。同品種は大玉で日持ちに優れており、果汁が多く濃厚な甘みが特徴。収穫は9月中旬まで続きます。

JA津軽みらいもも生産部会の小野崇全さんは8月27日、色付いた有袋栽培の川中島白桃を収穫しました。小野さんは「着色は良好で玉伸びも良く、糖度の高いおいしい桃となった。今後も適期収穫に努め、桃を心待ちにしている消費者の方々へ届けたい」と話しました。



抽選を行う佐藤常務



『川中島白桃』について説明する今井副部会長

～「津軽の桃」プレゼント企画～

当JAは、ブランド桃『津軽の桃』のプレゼント企画を実施しました。県内のフリー情報誌で募集し、707件の応募がありました。8月11日、JA本店で抽選を行い、佐藤佳克常務が抽選箱から番号札を取り出し、40人が当選しました。

当選者には、9月上旬に「川中島白桃」1箱（5㍑）と『津軽の桃』のロゴがプリントされた布マスク1枚が贈られました。

～ニュース番組で津軽の桃紹介～

8月27日、青森テレビ（ATV）のニュース番組で、『川中島白桃』の収穫開始が紹介されました。

撮影は、もも生産部会の今井和人副部会長の園地で行われました。今井副部会長は、品質や特徴などを説明し、消費者への思いを話しました。